

BancorプロトコルFAQ

背景情報: キーコンセプト

- ロングテールとは何ですか？暗号通貨にどのような関係があるのですか？
- "欲求の二重一致問題"とは何ですか？
- 資産取引において何故二重一致問題が存在するのですか？
- スマートコントラクトとは何であり何故重要なのですか？

一般的概要

- Bancorとは何ですか？
- Bancorはどんな問題を解決するのですか？
- スマートトークンとは？そしてそれはどのように通常のEthereum上のERC20トークンと異なるのですか？
- スマートトークンのユースケースにはどのようなものがあるのですか？
- Bancorの背後には誰がいるのですか？
- チームの拠点は？この空間で何か他のプロジェクトを構築したことがありますか？

BANCORプロトコルについて

- どのように非同期価格発見は働くのですか？
- どのようにスマートトークンの価格は計算されるのですか？CRRとは何ですか？
- ユーザーがCRRより大きいスマートトークンの割合を即座に清算しようとするとうなりますか？
- Bancorプロトコルの価格発見メカニズムは、他の暗号通貨取引と比べて価格の変動性を高めませんか？

共通の質問

- Bancorプロトコルと、他の暗号通貨の取引はどのように違うのですか？
- 既存の小さな時価総額のトークンはどのようにBancorのメリットを享受出来ますか？
- Bancorは開発者ためだけのものなのか、それともエンドユーザー向けですか？
- 何故クラウドセールを行っている会社はすべての資金を自らのために保有するのではなく、スマートトークンを作るための準備金のために収益の一部を費やすのですか？
- Bancorプロトコルはどのように全ての通貨のための分散型シェイプシフトのようなものを作るのに使用できますか？(トークンチェンジャーがどのように働くかのように)
- Bancorプロトコルは、分散型で信用出来ないトークンバスケット(ETF)を作成するためにどのように使用できますか？
- 既存のトークンはプロトコルからメリットを享受出来ますか？
- スマートトークンは暗号通貨取引所で取引出来ますか？
- BTCやXMRなどERC20トークン以外のものをサポートする予定はありますか？Bancorプロトコルは他のブロックチェーン間で使用出来ますか？

BANCORネットワークトークン	14
BANCORネットワークトークンとは何ですか？	14
何故単にネットワークトークンとしてEtherを使わないのですか？/ 誰かがBancorプロトコルをフォークして別のネットワークトークンを使うことは出来たりしないのですか？	15
よくある誤解	16
Bancorはただの分散型取引所ではないのですか？	16
100%未満のCRRで新しいトークンを作成し始める人が出て来ると、誰もが自分のお金を作ること	
を許すようなものではありませんか？それは問題ではありませんか？	16
スマートトークンの時価総額は、準備金の合計額よりどれくらい高いのでしょうか？	17
150%または200%の準備金を使って裏付けされたトークンについて聞いたことがあります、ど	
うして10%の準備金で充分なのでしょうか？	17
価格発見のために新しいモデルを使うことはリスクに聞こえます。何故それが上手く働くと思	
えたのですか？	18
ETHEREUMと他のブロックチェーン	18
Ethereumの使用のために技術的な制限はありますか？	18
The DAOがハックされたことはEthereumは安全でないということではありませんか？	18
BANCORと他の技術の比較	19
BancorはOxとどう違うのでしょうか？	19
BancorはMakerdaoとどう違うのでしょうか？	19
BancorはShapeshiftとどう違うのでしょうか？	19
BancorはMelonportとどう違うのでしょうか？	19
BancorはEtherSwap / CryptoDerivativesとどう違うのでしょ	
うか？	20
BancorはCosmon / Polkadotとどう違うのでしょうか？	20
その他	20
銀行での実行がスマートトークンに起こり得る場合の問題は何ですか？これに対する保護は何	
かありますか？	20
より高いまたはより低いCRRを選択することの意義は何ですか？	20
どうしてBancorというプロジェクト名にしたのですか？	21
BANCORトークンの時価総額はどのように測定/総額されますか？	21
何故トークン作成者は貴重な資金を準備金に割り当てずに取引所を使うだけなのでしょうか？	21

用語集	22
------------	-----------

背景情報: キーコンセプト

- ロングテールとは何ですか？暗号通貨にどのような関係があるのですか？
ビジネスにおいて「ロングテール」とは現在のトップパフォーマーを合計したものを上回る市場シェアを集めている低需要あるいは販売量/視聴量の低いコンテンツおよび製品を表します。

インターネットの歴史は、デジタルロングテール現象により、すべてのニッチな貢献が2〜3桁ヒットより大きいことを示しています。1,000よりフォロー数の多いほとんどのInstagramのアカウント、または最も影響力のあるものを超えるすべてのステータス更新を考えてみましょう。何百万もの視聴数を持つ最も一般的なYouTube動画のそれぞれは、サイト全体の視聴回数の1%未満です。

暗号通貨においては、潜在的なロングテールは、2,3の最も大きいものを超えるすべての小さな通貨とニッチな通貨を組み合わせるとき、ユーザーが作り出した価値の中で数千億ドルにもなる可能性があります。しかしロングテール現象が現れるためには、流動性の問題を解決しなければならず、通貨の作成と管理に対する技術的障壁を取り払う必要があります。

- "欲求の二重一致問題"とは何ですか？

欲求の二重一致問題は、取引を完了するために同時に反対の欲求を持つ2つの当事者を見つけることは困難であると述べていると知られた数学的課題です。

一般的な例: 相手側が提示しているものを正確に要求する必要とする2つのサイドの中での交換の非効率性。お金は時間と空間の交換を可能にする技術的解決策として考案されました。そこで例として、今日はトマトを売って翻って明日は人参を買うことが出来るように、両方の当事者が同時に反対のものと完全に一致するものを見つける必要はありません。

人間のコミュニケーションの領域でさえ、書くことの発明以前に要望の二重一致は存在していました。人々は情報を共有するために対面する必要がありましたが、ものを書くことは一方の当事者が自分の考えを伝えることを可能にし、もう1人は数千年後にかれらの考えを読むことを可能にしました。

- 資産取引において何故二重一致問題が存在するのですか？

資産交換の領域においては、「お金のためのお金」が存在しないため、要求の二重一致問題が存在します。交換される全ての通貨は、反対の2人の当事者がリアルタイムで「会う」(デジタルにでも)必要があります。それ故、投機家やマーケットメイカーは流動性を提供し、取引を円滑にし、その途中手数料を取り非効率性を招く様に要求します。

取引所は、人間のコミュニケーションと交換のための書面と通貨のような技術的解決策とは対照的に、「要望の二重一致」への労働力ベースでのソリューションの一例です。

アナロジーとして、文章の代わりに、情報を口頭で伝えるためにメッセージャーが情報のある人から別の人に伝えるようなものになります。あるいは、お金の代わりに、人々が直接商品やサービスを交換するグローバルな市場があったとします。

しかしながら、スマートコントラクトの発明では、新しいパラダイムが可能です。今や、不変の分散ソフトウェアコード自体がプログラム可能なお金を保有することが出来、お金を持つお金を意味します。Bancorプロトコルは、デジタル資産を交換するためのスマートコントラクトを標準化することで、資産交換の領域における「欲求の二重一致問題」に対する最初の技術的ソリューションを提供します。

- スマートコントラクトとは何であり何故重要なのですか？

Ethereumを始めとするスマートコントラクト対応のブロックチェーンは、プログラム可能なコードによって通貨を管理可能な最初の分散型ソフトウェアを提供します。これが、以前は想像もつかなかった多様なカスタマイズの機会が金融政策やマネジメントへの扉を開くのです。

一般的概要

- Bancorとは何ですか？

Bancorプロトコルは、スイスのツークにある非営利組織であるBprotocol Foundationのイニシアティブです。

Bancorプロトコルでは、誰もが他の暗号通貨を保有(及び取引)出来るスマートトークンと呼ばれる新しいタイプの暗号通貨を作成出来ます。これにより、スマートトークンのコントラクトを自身のマーケットメイカーとして機能させ、自身の価格を自律的に発見し、他の通貨に流動性を提供することで、暗号通貨における第三者の必要性を排除します。全てのトークンは、ある価格帯において常に流動的です。

- Bancorはどんな問題を解決するのですか？

Bancorプロトコルは、資産取引の分野において、「欲求の二重一致問題」と呼ばれる古典的な経済問題の最初の技術的ソリューションです。

交換に対して、欲求の一致の問題はお金で解決され、人々は時間と空間において非同期的に取引出来るようになりました。お金に対しては、既存の取引所モデルは、マーケットデプスをそ作り出す注文書によって表されるように、流動性を提供するマーケットメイカーの労働力に依存します。この労働力要件は、流動性の障壁を生み出し、

高い流動性を市場価格で維持するためには、取引活動レベルの閾値が必要であることを意味します。このような流動性の障壁は、特にコミュニティ通貨や小規模ビジネスのロイヤルティポイントなどの小口のカスタムの少額で取引された通貨に影響を及ぼします。

Bancorのプロトコルは、スマートトークンを保有する資産保有型の非同期価格発見モデルを採用することで流動性の障壁を排除する新しいソリューションを提案しています。スマートトークンは、準備されているトークンに対して常に購入可能かつ販売可能です。スマートトークンの継続的な流動性は、流動障壁を排除し、ユーザー作成型通貨のロングテールの出現を可能にします。これは、ブログが出版を民主化し、YouTubeの民主化された配信と同様に価値の民主化に繋がる可能性があります。

暗号通貨のロングテールを可能にすること意外にも、Bancorプロトコルの本質的な準備通貨のメカニズムは、スマートトークンを発行して生産するスマートコントラクトの能力と相まって、(ほとんどの新しい暗号通貨のケースのように)新しい信用を作成するのではなく、むしろカウンターパーティや注文書(「トークンチェンジャー」をご覧ください)なしに既存の通貨の交換を可能にするというユースケースにおいて深い意味を持ちます。あるいは、カウンターパーティなしで通貨バスケットやインデックスファンドを直接所有することが出来ます(「分散型ETF」をご参照ください)。

- スマートトークンとは？そしてそれはどのように通常のEthereum上のERC20トークンと異なるのですか？

スマートトークンはERC20標準と互換性があり、この標準をサポートする任意のソフトウェア(Ethereum Walletなど)で使用できます。しかしながら、スマートトークンは通常のトークンでは使用できない追加機能を提供します。各スマートトークンは、1つまたは複数の他のERC20トークンに準備用の残高を保有し、それにより誰もがそれ自身とその準備トークンのいずれかを交換出来るようにします。スマートトークンのスマートコントラクトは、準備トークンのいずれかを使用して購入した人に新しいトークン(供給の拡大)を発行し、スマートトークンを生産することを選択した人のために、準備高(契約している供給)からトークンを引き出します。準備トークンのいずれかと比較したスマートトークンの価格は、予め設定されたCRR(Constant Reserve Ratio)で、現在のスマートトークンの供給とその準備残高間の比として計算されます。

これらの数式とその証明の詳細については、Bancorのウェブサイトにあるホワイトペーパーを御覧ください。基本的には、スマートトークンの価格は常にスマートトークンの需要と供給のバランスを取るために努めます。すなわち、それぞれのトランザクションの大きさに比例して、購入すれば価格は上昇し、売却すると価格は下がります。

- スマートトークンのユースケースにはどのようなものがあるのですか？Ethereumのユースケースが何であるかという問いに似ていて、Bancorプロトコルとスマートトークンには、非常に多くの可能性を持ったユースケースがあります。私たちがそれらのすべてを想像することは不可能ですが、いくつかのお気に入りがあります：
 - 補完通貨: コミュニティは、追加の与信枠を作成し地域レベルでの協力を奨励することで大きな利益を得ることが可能です。これらの通貨は、必ずしも国の法定通貨に取って代わるものではなく、むしろ補完して、流動性が失われたり、商取引が完全にローカルに行われるようなぽっかり空いた穴を埋めることで、国の通貨を他の用途のために開放します。信頼出来るメンバーが家族や学生、親しいグループのために作成した効率的に商品やサービス購入と売却ツールを与えることで束縛されたキャッシュに真の豊かさをもたらされます。この同じユースケースはオンラインのグループ通貨のためにも使用出来ます。コミュニティ通貨についてはオンラインでより詳しく読むことが出来、活発なコミュニティのリストを見つけられます。その多くは採用のためにBancorプロトコルを評価しています。
 - ビジネスロイヤルティポイントプログラム: 個別の企業がカスタムロイヤルティプログラムを顧客に十分に定着させるのに苦労している一方で、他のネットワークの中で他のトークンと交換出来るスマートトークンを発行することで、さらに多くのアイテムにアクセス出来る顧客のために大きな価値が生まれます。これにより定着力が増し、企業間の協力も強化されます。
 - トークンバスケット(すなわち、分散されたETFあるいはインデックスファンド): スマートトークンの合計CRRを100%に設定することにより、Bancorプロトコルを介して作成されます。これは、スマートトークンが他のトークンまたはトークン化されたアセットの任意の組み合わせを表現出来ることを意味し、所有者が直接所有する分散型の有機的にバランスの取れたトークンバスケットを作成します。例えば、あなたのスマートトークンは50%Augur REPsと50%のBCAPをその準備残高に保有することが出来、その価格はアービトラージャーによるAugurとBCAP値の相対的な変化を追跡します。
 - コンテンツ制作者: アーティストは、彼らの作品を購入したり、ショーに参加したりする方法として機能するスマートトークンを作成することも出来ます。これらのスマートトークンは、独自の流通媒体として機能するため(つまりアーティストとバイヤーは仲介者に手数料を払ず)、人々の間で簡単に交換することが出来、需要が高まるにつれて価格が上昇するように設定することが出来ます。
 - クラウドセール: 誰でもBancorプロトコルを使用して、取引所に依存しない常に流動的なトークンを作成出来ます。あなたのトークンは、全ての既存の暗号通貨のアーキテクチャと互換性を保ちながら、発行したその日から流動的になります。Bancorプロトコルを使用することにより、新しいAltcoinは、暗号通貨の最大のものに対してでさえ、基本的に多くの取引所を通してスマートコントラクト(準備金を通じて)によって提供されるただ1つの「グローバル取引所」に広がる

全ての流動性をプールすることによって、通常取引所によって提供されるものより大きな市場深度を達成することが出来ます。その結果、どんなカウンターパーティリスクのない顧客のための価格のボラティリティが低くなります。

- トークンチェンジャー: 100%のCRRと複数の準備されたスマートトークン(トークンバスケットに似ているような)を作成することで、誰でもすぐに別の準備トークンを交換することが出来ます。複数の通貨にまたがってポジションを取ることを望んでいる人のインデックスファンドとしての役割を果たすトークンバスケットとは異なり、トークンチェンジャーの目的はトークンを交換することです。トークンチェンジャーのネットワークは、分散型Shapeshiftに似たものとなり、ユーザーはBancorネットワーク上の通貨を他のものと交換することが可能です。トークンチェンジャーはコンバージョンサービスの料金を請求することが出来るので、トークンチェンジャーに流動性を提供したい(トークンを別のトークンに変換するのではなく)と思っている人は、クラウドソースされた取引所に部分的なオーナーとして参加し、チェンジャーが自動化されたコンバージョンサービスのために徴収した手数料(及びその準備金に累積され、スマートトークンの価値を認識すること)を得ることが出来ます。トークン用のオンラインウォレットを構築するソフトウェア企業は、アプリケーション内で直接取引所サービスを提供できるようになり、夜通し新しい収益ストリームをオープンしておくことが出来ます。

私たちが最も興奮しているのは、コミュニティから見えるイノベーションです。歴史的には、参入障壁が下がるとロングテールが形成されます。Bancorは誰でも自分のイメージに価値あるネットワークを作れることを可能にします。数百、数百万の潜在的なデジタル通貨起業家が存在しており、彼らは私たちにプロトコルとプラットフォームの力について教えてくれるでしょう。

- Bancorの背後には誰がいるのですか？

Bancorの背後にいるチームは、数十年の経験を持ち、ベンチャーキャピタルを増やし、企業をインターネットスケールで成長させ、製品を市場に投入し、重大な合併や買収を達成し、そしていくつかのものを閉じてきた、コンシューマーインターネットテクノロジーのシリアル起業家たちによって構成されています。我々の一部の仲間には、Contact Network(1998年の最初のソーシャルネットワークの1つ、Plaxoまた後のFacebookへのインスピレーション)、MetaCafe(5千万人以上のアクティブユーザーを持つYouTube以前では最大のユーザー作成型動画共有サイト)、Mytopia(PDAやスマートフォン向けの初めてのマルチプレイヤーゲームの開発者)、Particle Code(モバイルアプリケーションとWebアプリケーションのクロスプラットフォーム開発環境)、AppCoin(デジタルコミュニティ通貨のパイオニアで100万件を超える現物取引が記録されています)のメンバーがいます。

2011年にBitcoinを発見して以来、私たちはブロックチェーンとインターネットの間の類似性やユーザー作成型通貨の社会への影響に魅了されました。

私たちは何年もの間、地域通貨のパイロットを行ない、お金のインターネットにおけるロングテールのロックを外すための障壁を深く理解して来ました。Bancorプロトコルは、我々が何度も発見したファンダメンタルな流動性の課題のためのソリューションであり、幾年ものインキュベーションを経て、業界や学術界の専門家との洗練およびレビューを重ねて来ました。私たちのチームメンバーについては、ウェブサイトで詳しく読むことができます。

- チームの拠点は？この空間で何か他のプロジェクトを構築したことがありますか？

Protocol Foundationは、スイスのツークに本部を置くスイスの非営利団体です。財団には、イスラエルのテルアビブに拠点を置く研究開発センターがあります。私たちのチームは、2011年からイスラエルのブロックチェーンエコシステムに関わってきました。MasterCoin Foundationを我々のオフィスでインキュベートしています。彼らは最初のハッカソンの開催も含め、多様な通貨のプラットフォームのインフラを推進しようとすべてを賭けています。私たちは2013年以降、独自のユーザー生成型通貨ソリューションを開発し、展開してきました。Ethereumのスマートコントラクトプロトコルは、ユーザー作成型プログラム可能通貨(トークン)のための分散プラットフォームに必要とされるBancorプロトコルを設計するのにインスピレーションを与えてくれました。

以前、数千万人のユニーク月次ユーザーが使用していたエンドユーザーのインターネットアプリケーションを我々のチームメンバーが構築し、インターネットの初期段階からゲーム、動画、コマースの新しいデジタルユーザー体験を開拓して来ました。

BANCORプロトコルについて

- どのように非同期価格発見は働くのですか？

非同期価格発見: スマートトークンが、買い手と売り手をリアルタイムで照合することなく、自分自身またはその準備トークンの価格を発見する能力です。

スマートトークンは、スマートコントラクトによって購入または清算された時はいつでも、シンプルな計算を使ってトークンをリプライスします。これは、予め設定されたCRR定数を保持し、現在のスマートトークンの供給と準備残高を反映する様に価格を調整することに寄って行われます。トークンの供給は、購入(準備トークンと引き換えに買い手に発行された新しいスマートトークン)と清算(スマートトークンは準備用からのトークンと引き換えに返却され、破棄される)と共に増加します。トークンを購入すると価格が上昇し、清算されると下がります。時間の経過とともに、購入と清算のボリューム間の残高の一点で価格は安定するでしょう。正確な数式と数学的証明は、私たちのウェブサイトですぐ入手可能なホワイトペーパーに記載されています。

- どのようにスマートトークンの価格は計算されるのですか？CRRとは何ですか？

CRR(Constant Reserve Ratio: 一定準備率)とは、各スマートトークンの準備のためにスマートトークントークンの作成者によって設定されるパラメーターです。

CRRは、準備金残高とスマートトークンの計算された時価総額との比率を決定するために、スマートトークンが非同期価格発見メカニズムとして使用する重要なパラメーターです。

例えば、100 ETHの準備金に対して10%のCRRを設定すると、1,000 ETHの時価総額(このスマートトークンは、この時価総額を供給したスマートトークンの数で割った値として、最初は作成者が設定し、そしてその後は市場での売買によって動的に決まります。

スマートトークンが購入あるいは清算される度に、準備金残高が増減するため、スマートトークンの合計供給量も増減します。その結果、CRRが100%より小さいスマートトークンの場合、スマートトークンの購入により価格が上昇し、清算によって低下することになります。

このメカニズムは、購入量と清算量との間の平衡点に向かって常に価格を再調整します。価格の変化も取引の規模に比例するため、大きい購入額または清算額は小額の場合に比べて価格への影響度もより一層増えます。

これらの仕組みや数式については、ホワイトペーパーで詳しく読むことができます。

以下は、Reddit上に掲載された私たちのELI5(Explain it to me Like I'm 5)の抜粋です:

それでは、あなたが作った小さなロボットのように、100%未満のCRR(Constant Reserve Ratio)のスマートトークンを描いてみましょう。ロボットには2つ(またはそれ以上)のウォレットがあります。1つのウォレットは資産でいっぱいです(この例ではETHを選んでみましょう)。もう1つはスマートトークンにダビングしている新しい資産の底なしのウォレットです。

あなたがロボットを作るときには、ロボットにCRRを与えます。これは、ロボットがそのウォレットのそれぞれの合計個別値を割り当てる合計値のパーセンテージです。新しいスマートトークンの価格決定のためにこのCRR(0%~100%の間)を使いましょう。

方法はこうです。

このロボットのCRRは、20%がETHと、80%はNewCoin(現在世界中で100単位あります)と呼ぶ新しいスマートトークンであるとしましょう。1,000 ETHがウォレットに入っている場合、1 NewCoinのコストは…

時価総額 = 準備金残高 / CRR = 1,000 ETH / 0.2

∴ 時価総額 = 5,000 ETH

∴ NewCoinの価格 = 時価総額 / 供給量 = 5,000 / 100

⇒ 1 NewCoin = 50 ETH

今度はETHの準備金が大きくなり、次の買い手のためのNewCoinの価格が上昇します。

次のNewCoinのコスト: $(1,050 / 0.2) / 101 = 51.9802$ ETH

- ユーザーがCRRより大きいスマートトークンの割合を即座に清算しようとするようになりますか？
ユーザーがスマートトークンを購入または清算する度に、実質価格は取引の規模によって計算されます。この理由は、Bancorプロトコルでは、取引(トランザクション)を無限小の欠片に分割した場合に発生する価格変動を考慮した特定の機能を使うためです。供給量の高いパーセンテージを清算すると、実質的な価格低下を引き起こし(それぞれの段階的な清算が価格を押し下げる圧力を掛けるため)、この減少は現在の取引価格でより得られます。これにより、準備金残高がなくなることはなく、CRRは常に維持されます。これはまた、今日の取引所モデルでは非常に一般的な大規模プレイヤーによる価格操作(それをより高くすることによって)を回避するのに有用です。
- Bancorプロトコルの価格発見メカニズムは、他の暗号通貨取引と比べて価格の変動性を高めますか？
それどころか反対に、時価総額に対して一定の比率を維持する準備金残高を保有することにより、スマートトークンの価格変動は現在のマーケットデプスの影響を受けません。これは準備金が普通にマーケットデプスを提供する伝統的な注文書に予測可能かつ制御された代替物として機能するためです。私たちは通常の取引所は一般的に1%程度のマーケットデプスを保持し、これは1%を超えるCRRである任意のスマートトークンが比較的安定している可能性があるということを観てきました。

共通の質問

- Bancorプロトコルと、他の暗号通貨の取引はどのように違うのですか？暗号通貨は今日、通常、期待される取引量に基いてリストすることを選択できる古典的な鶏比所で取引されています。彼らは、トランザクションが起こるためには、相反する欲求を持つ2つのパーティをお互いに照合されなければならないbid-askモデルを使用しています。

Bancorプロトコルでは、スマートトークンはスマートコントラクト(アルゴリズムで計算された価格で準備通貨と交換可能)を通して継続的に流動的にすることが可能であり、

したがって、流動性や価格発見のために取引所には依存しません。スマートトークンは売り手からではなくスマートコントラクトから直接購入され、買い手ではなくスマートコントラクトによって清算されます。

- 既存の小さな時価総額のトークンはどのようにBancorのメリットを享受出来ますか？

小さな時価総額とライトに取引されるトークンは、彼らが直面している現在の流動性問題へのシンプルで実用的なソリューションを提供するBancorプロトコルから、大いなる利益を受けるでしょう。流動的なトークンは実際にはより大きな経済からは切り離されているため、それらに所有者にとって有用性が低くなり、そのためその価値が低下し、さらには採用が制限されます。これらのいくつかの例には、地域通貨(特定の地理的な場所のための)や、グループ通貨(クラブ活動やコミュニティのための)、ロイヤルティポイント(個別のビジネスまたはビジネスのネットワークのための)、そしてクラウドセールトークン(プロジェクトまたはイニシアティブのための)があります。

- Bancorは開発者ためだけのものなのか、それともエンドユーザー向けですか？

Bancorは、技術スキルに関係なく、誰でもあらゆる目的のために、簡単に作成し、完全に機能的で流動的なスマートトークンを管理することが出来ます。

ポピュラーなメッセージャーやチャットボットプラットフォームと統合されたデスクトップ/モバイルWebインターフェイスは、ユーザー生成型トークンを使用するための全ての基本的な機能性と同様にシンプルなオンボード機能を提供します。Bancorはまた、暗号通貨空間の主要なソフトウェア開発者や取引所とのプロトコルを統合し、スマートトークンの力をその他のポピュラーかつ重要なアプリケーションやサービスに直接的にもたらしめます。

- 何故クラウドセールを行っている会社はすべての資金を自らのために保有するのではなく、スマートトークンを作るための準備金のために収益の一部を費やすのですか？

研究により、資産は流動的であることで価値を得ることが示されています。保証された流動性は資産の所有者にとって大きな利益をもたらし、この保証はクラウドセールにおいて参加を促す可能性を高くします。利用に関しては、コミュニティ通貨とロイヤルティポイントの両方で、流動性は採用と維持の主要な推進要因であり、ユーザーのネットワークへの出入りを容易にし、最初の場所に参加するよう促します。これは、どれだけの人々が、たとえ取引を計画していなくても、他の資産のために簡単に取引出来ることを知っていてUSドルを受け入れるということに似ています。流動性には心の安らぎがあり、この信頼の構築は、新しいトークンの離陸とその価値を証明することに苦労していることの間の違いになり得ます。

Having said that, the smart token creator does not need to devote these funds to the reserve forever, since it is possible to set a smart token with an adjustable CRR (within a

そうは言っても、スマートトークンの作成者はこれらの資金を永久に準備金に費やす必要はありません。それは発行者がスマートトークンのユーザーベース(そしてその時価総額と有機的な流動性)が増加するよう準備金の一部を引き出すことを可能にする調整可能なCRR(予め設定された範囲で)をスマートトークンが設定出来るためです。

そしていくつかのケースで、準備金は実際に、将来の追加資金源(発行者がCRRを減少させる場合)のための一時的な預金とみなすことが出来ます。取引先を見つけて簡単に取引出来るための十分な取引量を持たないであろうユーザー生成型通貨のロングテールに対して、流動性を達成するための選択肢は現在存在しません。

Bancorは、資産交換における欲求の二重一致問題の唯一の技術的ソリューションです。私たちは、新しいスマートトークンにリザーブを付加することのメリットは、準備された流動性のコストを遥かに上回ると信じています。

- Bancorプロトコルはどのように全ての通貨のための分散型シェイプシフトのようなものを作るのに使用できますか？(トークンチェンジャーがどのように働くかのように)

トークンチェンジャーは、リザーブ内の2つ以上のトークンを持つスマートトークンであり、それらのCRRの合計は100%です。その目的は、Bancorネットワーク上の、任意の通貨と任意の他の通貨を即時交換可能とすることです。

トークンチェンジャーは、作成者が設定した通りに、手数料を有料にすることも無料にすることも可能です。

手数料が0.1%のトークンチェンジャーは、誰かがトークンチェンジャーを利用して準備トークン間の交換をファシリテートする度に、交換されるトークンの0.1%がスマートトークンのリザーブに蓄えられます。

スマートトークンと同様に、誰でもトークンチェンジャー内の権利を購入することが出来ます。トークンチェンジャーを有料で所有することは、小さな取引所で株式を所有することに似ています。トークンの価値は、支払った各手数料とともに増加します(それがリザーブに累積され、価格アルゴリズムに上方向の圧力をかけるように)。投資中、いつでもトークンを清算し現金化することが出来ます。

ユーザーは、有料のトークンチェンジャーの方がマーケットデプスが大きくなる可能性が高いため無料のものよりも有料のものに引き付けられるかも知れません(準備トークンを介して、より多くの人々が利益を生み出すスマートトークンに流動性を提供することを望むでしょう)。したがって、より低い価格変動を有する可能性が高く、それにより手数料を請求するトークンチェンジャーを使用する場合、実際にエンドユーザーはより良い交換レートを得ることが可能になるでしょう。

Bancorのアルゴリズムと価格発見UXは、ユーザーがいつでも目標を達成するために使用すべきトークンチェンジャーを選択するのを支援します。

- Bancorプロトコルは、分散型で信用出来ないトークンバスケット(ETF)を作成するためにどのように使用できますか？

スマートトークンは、それぞれ独立したCRR(Constant Reserve Ratio: 一定準備率)設定を持つ複数のリザーブを保有できます。トークンバスケットは、合計で100%のCRRとなる2つかそれ以上のリザーブを持つスマートトークンとして定義出来ます。バスケットは、スマートトークンのように、その準備トークンのいずれかを購入することが出来、そのうちのいずれかと引き換えに清算することが出来ます。バスケットがその準備トークンの1つで購入されるとき、そのトークン内のバスケットの価格は上昇し、他の準備トークン内のものは下落します。この振る舞いにより、計算された価格が外部の市場価格と大幅に異なる場合、アービトラージャーがトークンバスケットを再調整するインセンティブが生まれます。

トークンバスケットはトークンチェンジャーとしても利用できます(料金の有無に関わらず)。

- 既存のトークンはプロトコルからメリットを享受出来ますか？

任意のERC20トークン(スマートまたは通常の)は準備トークンとして設定できます。既存のトークンのいち分をスマートトークン(Bancor)プロトコル(例えば、固定供給のトークン)に移行することは難しいかも知れませんが、トークンチェンジャー内の準備トークンの1つとしてそれらを使用することに寄って、これらのトークンをBancorネットワークに接続することは可能です。これにより、カウンターパーティを必要とせずに既存のトークンを売買することが可能になります。さらに、既存のトークンにとって、(スマートな)トークンチェンジャーのリザーブにおける使用から始まる需要の増加を見ることは良いことかも知れません。

- スマートトークンは暗号通貨取引所で取引出来ますか？

はい、スマートトークンはERC20と互換性があるため、どこでも取引が可能です。しかしながら、スマートトークンは、継続的な流動性とアルゴリズムックプライシングのためにBancorプロトコルを使用してスマートトークンのコントラクトによって直接的に処理されるため、流動性を実現し価格発見を円滑にするために暗号通貨取引所で取引する必要はありません。

- BTCやXMRなどERC20トークン以外のものをサポートする予定はありますか？ Bancorプロトコルは他のブロックチェーン間で使用出来ますか？

はい。短期的には、これは資産のトークン化(引き継がれたカウンターパーティリスク)または連合型の双方向ペグ(カウンターパーティは遥かに小さい)によって実現出来ます。これは、第三者が他の暗号通貨で資産を保護していることを意味し、Ethereumトークンを発行してそれらの代わりとします。これらのトークンは、いつでも元の資産(この場合は暗号通貨)に戻すことが出来ます。これらのトークン化された(ERC20)アセットはトークンチェンジャー、またはトークンバスケットのリザーブとして使用可能です。

長期的には、私たちはクロスブロックチェーンの相互運用性(CosmosやOlkadotなど)のソリューションを追っており、究極的にはBancorプロトコルが普遍的で、継続的な流動性のためのブロックチェーンに依存しないソリューションであることを保証する予定です。

BANCORネットワークトークン(BNT)

- BNTとは何ですか？

BNTは、展開されるGenesisなスマートトークンであり、BANCORネットワークを確立し、そのネイティブ通貨として機能します。BNTはETHで準備金を保有します。

BNTはクラウドセールにて発行されます。クラウドセールの収益は、BANCORネットワークでトークンを発行して使用するためのユーザーフレンドリーなWeb/チャットボットインターフェイスを継続的に進化させ、展開するために使用され、新しトークンの準備金への投資などのネットワークの成長のための様々な努力を支援し、100%のCRRのトークンチェンジャーを使用して、Bancorプロトコルに基づく新しいタイプの高流動分散型トークン取引ネットワークをセットアップするために必要な初期デポジットを作ります。

Bancorネットワーク内で発行された全てのスマートトークンはBNTを準備金として保有します(準備トークンを追加で保有することも出来ますが)。これは、ネットワークのスマートトークンの価値の評価されることにより、BNTの価値が評価され、BANCORネットワークの他の全てのスマートトークンに利益がもたらされることを意味します。

BANCORは分散型取引ネットワークを構築するトークンチェンジャーのリザーブとしても使用されます。Bancorトークンチェンジャーは、基本的に、BANCORで50%のCRRリザーブと既存の標準ERC20トークン(例えばREP、GNT、RLC)で50%のCRRリザーブを保有するスマートトークンであり、エンドユーザーは、スマートトークンを1つの準備トークンで購入し、他者にそれを売ることによって簡単にトークンの変換を行うことが出来ます。将来、Bancorは追加のトークンもサポートする予定です。

- 何故単にネットワークトークンとしてEtherを使わないのですか？/ 誰かが

Bancorプロトコルをフォークして別のネットワークトークンを使うことは出来たりしないのですか？

BancorプロトコルのネットワークトークンとしてEtherを使用することは、Etherの代わりにEthereumのためにBitcoin通貨を使用することと比較できます。BNTをBancorネットワークのデフォルト準備通貨として使用すると、いくつかの重要なアドバンテージがあります:

1. ネットワーク効果: リザーブにBNTを使うスマートトークン(Bancorが開発または調達したどのソフトウェアサービスに対してもスマートトークン作成のデフォルト設定になる)が多いほど、BNTはより価値が高く、より需要が多くなります。BANCORの価値が上がると、BANCORをリザーブとして保有してる全てのスマートトークンの価値も上がります。また、私たちはBancorプロトコルの背後にある技術について最も精通しており、それ(大規模な開発チームとともに1年以上協力して来たことも含み、最初のBancorソフトウェアサービスのUX、トークンチェンジャーの導入、潜在性の高いコミュニティの通貨、そしてBNTを持つ多くのトークンバスケット)を構築する上での最初に動く者としての優位性を持っているため、

フォークする人は、経済的インセンティブと我々が構築してきたものを上回る能力が必要であり、そうでなければ、他の人々が使用するインセンティブがほとんどない劣悪なネットワークを作り出します。(これは、Ethereumと比較することが出来、ETHを使用するソリューションの成功はEtherの価値を高く評価させ、Ethereumネットワーク全体に利益をもたらします。

2. アーリーアダプターに対するインセンティブ: どんな暗号通貨と同じように、最初の貢献者は、プロトコルが構築され成長するにつれて彼らの貢献度が上がるのを見ることが出来ます。このインセンティブがなければ、BANCORが人気のERC20トークンのための継続的に流動性のある分散型の取引所として機能することを可能にするために必要な準備預金を取得するのと同様に、Bancorの発展と成長をサポートすることは難しいでしょう(ホワイトペーパーと本書の様々なFAQに記載されているスマートトークンチェンジャーに基づいています)。人気のトークンをBancorネットワークに(トークンチェンジャーまたはトークンバスケットのリザーブを介して)リンクすることで、ユーザビリティとネットワークの価値が飛躍的に向上することが期待されています。
3. 加えて、ETHを準備トークンとして使用することには、BANCOR(ETHをリザーブとしている)と同じように流動的であるため、実際の優位性はありません。事実、ETHを準備金として使用する唯一の理由は、トークンの作成者がETHに対して長期的に償却されると予測する場合のみです。これは、BANCORの使用が何らかの理由で減少している場合にのみ発生します。(これは誰でもBancorプロトコルに基いてスマートトークンを発行することを奇妙な選択にします)

よくある誤解

- Bancorはただの分散型取引所ではないのですか？

Bancorは取引所ではありません。非同期の価格発見と継続的な流動性を可能にするプロトコルです。これは、スマートトークンの変換では、2人の当事者をリアルタイムで相手の希望と照合する必要はなく、トークンのスマートコントラクトを通じて直接的に単一のパーティによって完了可能であることを意味します。

したがって、あなたが売っているものを積極的に買いたい人を見つけなければならない取引所とは異なり、スマートトークンは取引量に関係なく常に完全かつ即座に清算出来ます。これは、取引量があまりにも低すぎるかまたはその用途があまりにも特別であるため、通常は流動性を達成出来ない潜在的な無数の通貨のロングテールを可能にします。Bancorプロトコルを使用して構築されたスマートトークンは、相互接続された金融ネットワークを形成し、ネットワーク内の変換要求を即座に促進します。

- 100%未満のCRRで新しいトークンを作成し始める人が出て来ると、誰もが自分のお金を作ることを許すようなものではありませんか？それは問題ではありませんか？

お金はコラボレーションの技術として見る事が出来ます。それは、相互に合意された信用の単位を配布し、

誰が誰のために何をどれだけ行なったのかを追跡するのを補助することにより成り立ちます。歴史を通じて、最初の信用が分配され(循環から取り除かれ)るような多くの方法が存在しました。金は自然に分配され、銀行手形は融資として拡張され、暗号通貨は通常クラウドセール、PoWそしてPoSマイニングを通して発行されます。

新しく流動的なトークンの作成を民主化することによって、地理的に異なる複数のグループによって様々なポリシーを実装することが出来ます。それにより、新しい信用が拡張されるプロセスを分散化し多様な価値の生態系を可能にします。

これはインターネットの構造と比較することが出来ます。プロトコルが合意されている間(HTTP、TCP/IPなど)、各ネットワーク(例えばISP)は、異なるビジネスモデル、使用ポリシーそしてバックボーン技術を採用し得ます。

分散化され相互接続された通貨モデルは、より高い機敏性、安定性および信用へのアクセスを実現することが出来ます。これは問題ではないと私たちは信じていますが、ソリューションです。私たちは、イノベーションと創造性、そしてエンドユーザーのための真の価値の大部分を期待しています。

- スマートトークンの時価総額は、準備金の合計額よりどれくらい高いのでしょうか？

合計CRR(トークンチェンジャーとETF)が100%のトークンの場合、スマートトークンの価値はその準備金と等しくなります。

しかしながら、100%未満のトークンの場合、トークンの価値はその準備金よりも大きくなります。ロイヤルティポイント(航空会社のマイル)、地域通貨(Ithacash)、プロトコルトークン(AugerのREPおよびGOLEM)などの準備金を持たない貴重なユーザー生成型通貨の多くの例がありますが、時価総額があるかまたは知覚価値は0より大きいです。これらの通貨の価値は、他の当事者がそれを受け入れる意思であり、裏付資産によるものではありません。

スマートトークンが保有する準備金は、流動性と非同期的な価格発見を可能にする仕組みです。にも関わらず、トークン自体は、それがどのような目的のために役立つかに関わらず本質的に価値があるに違いありません。リザーブはスマートトークンの価値の源ではありません。むしろ流動性を保証する仕組みを運用するための要件です。

- 150%または200%の準備金を使って裏付けされたトークンについて聞いたことがあります、どうして10%の準備金で充分なのでしょう？

一部のトークンは、外部資産(TETHERなど)の価値に固定されるように設計されており、一部の実装では、これらのトークンは、価格オラクルと組み合わせて100%より大きい準備金を使用します。これは、このようなモデル(「Stablecoins」とも呼ばれる)により導かれるカウンターパーティリスクの緩和策として設計されています。

100%超の準備金を持つことの理由は、例えばUSドルのような固定された資産の価値が、例えばETHのような裏付資産に対して上昇する可能性があり、その場合準備率は減少しますが、100%以上である限りは、ペグされたトークンは完全に裏付されたままです。

これらのタイプのトークンは、とても異なる目的を提供します(取引相手のリスクを最小限に抑えつつブロックチェーン上の外部資産をかたどります)。

Bancorの場合、準備トークンは、スマートトークンの価値を裏付けるものではなく、流動性と価格発見性を提供するメカニズムとして機能します。したがって、スマートトークンの準備金は0%から100%の間まで設定出来るのです。

これによりトークンの作成者は、1日目から、つまりスマートトークンが取引量を重ねる機会を得る前に、継続的な流動性と自律的な価格発見の恩恵を受けつつ新しい価値を創造することが可能となり、そのため、流動性への障壁を大幅に低下させ、ユーザー作成型通貨のロングテール効果をもたらすのです。

- 価格発見のために新しいモデルを使うことはリスクに聞こえます。何故それが上手く働くと考えたのですか？

結局は、従来のモデルとBancorの両方の市場価格は、任意の主観に買い手と売り手の間の平衡点を表します。どちらのモデルにおいても、買い手市場は価格を引き上げるが、売り手市場は価格を下げます。この共通のインセンティブ調整メカニズムは、市場価格の発見の鍵であり、私たちがBancorの非同期価格発見モデルが適切に機能すると考えている理由です。Bancorのモデルが異なるのは、価格発見のために取引量に頼るのではなく、非常に低い取引量でも効果的に機能することが出来る準備金とトークン供給量の比率を維持することによって価格を設定することです。

ETHEREUMと他のブロックチェーン

- Ethereumの使用のために技術的な制限はありますか？

Ethereumはすぐにトークンのプラットフォームになり、BancorプロトコルはBancorの「トークンチェンジャー」の改善提案であるEIP228を通じてERC20トークンの機能を拡張します。私たちは、EthereumがBancorプロトコルを効果的にローンチするために必要なもの全てを実装するのに役立つ、実用的で包括的なプラットフォームであることを発見しました。高度な数学関数の実装などいくつかの課題に遭遇しましたが、私たちには回避出来ないものなどなく、将来には改善出来るものであると思いました。加えて、Ethereum Foundationが過去数年間にブロックチェーンの進化を導いてきたことの証に基づき、紛争状態を終わらせることのないBitcoinブロックチェーンの停滞とは対照的に、私たちはETHには明るい未来があると信じており、生態系の包括的な流動性ソリューションを構築し、最終的には他者と結びつけることに興奮を覚えています。

- The DAOがハックされたことはEthereumは安全でないということではありませんか？

いいえ。ただし、スマートコントラクトを導入する前にプロの監査を受ける必要があります。導入後に問題が発見された場合にはスマートコントラクトに追加保護を実装する必要があります。The DAOのハック以来、新しく導入されたスマートコントラクトのセキュリティを向上させるためにこの業界ではいくつかのベストプラクティスが進化してきました。Bancorはこれを利用してスマートコントラクトのセキュリティを確保しています。また、予期せぬシナリオを防ぐために複数の冗長性を実装しています。

BANCORと他の技術の比較

- Bancorは0xとどう違うのでしょうか？

0xは、現在の分散型取引所ソリューションのスケラビリティとコストの課題を解決することを目指す次世代の分散型取引所です。Bancorとは異なり、0xは、2つの当事者間の取引を促進するために、bidとaskの照合の古典的な交換モデルを使用します。Bancorプロトコルは、資産交換取引を促進するために2つの当事者を照合する必要がないため、どんな時でもどんなスケールでも資産の継続的な流動性を可能にするため、既存の交換モデルとは異なる働きをします。

- BancorはMakerdaoとどう違うのでしょうか？

Makerdaoは安定した担保された暗号通貨を作り出しています。これは、Makerdaoが発行するDAI通貨の価値が、主要経済国における商品やサービスの実際のコストを反映した国際通貨(SDR)のバスケットにペグされていることを意味します。担保付きとはDAI通過に対して担保が維持されていることを意味し、それを効果的に裏付けします。これは準備金が担保ではなく、むしろ流動プールとして使用されるスマートトークンとはかなり異なり、本質的に異なる通過でこの通過のマーケットデプスの代替手段を提供します。

- BancorはShapeshiftとどう違うのでしょうか？

Shapeshiftは、ユーザーが暗号通貨/トークンをアドレスに送信し、そのかわりに異なる暗号通貨を交換するためのシンプルなソリューションを提供しています。Bancorトークンチェンジャーは同様の体験を提供しますが、Shapeshiftはより古典的な取引所インフラを使用しているためバックエンドはかなり異なりますが、Bancorではスマートトークンがアルゴリズムックプライシングのためにリザーブメカニズムを使用しています。

- BancorはMelonportとどう違うのでしょうか？

Melonportは、特定の当事者が管理するスマートコントラクトベースの投資ビークルを作成するプロセスを簡略化していることを意味する「ユーザー生成型ファンド」を作成するためのプラットフォームです。Melonportはまた、異なる資金間のパフォーマンスの比較を可能にするメカニズムを提供します。

Melonportと類似点があるBancorの唯一のユースケースは、トークンバスケットです。トークンバスケットを管理出来るということは、所有者はリザーブリストとCRRを随時更新することが出来、非管理も可能です。これは、トークンバスケットが同じアセットと比率のセットを無期限に保有することを意味します。

- BancorはEtherSwap / CryptoDerivativesとどう違うのでしょうか？

EtherSwapとCryptoDerivativesは、本質的にEthereumネットワーク上で公開市場の注文を提供します。スマートコントラクトを使用すると、誰でもETHのトークンを所定の取引レートで交換することが出来ます。これは、プロセスに参与する2つのパーティが存在することを意味します。これは、古典的な取引所で行われるマッチメイキングプロセスに非常に似ています。加えて、有機的または自動の価格発見が行われません。

- BancorはCosmon / Polkadotとどう違うのでしょうか？

Cosmon/PolkadotとBancorは全く異なっており、非常に相乗効果があります！Cosmos & Polkadotは、異なるブロックチェーンの相互運用を可能にするソリューションを開始する予定です。これらの技術を使用することで、BancorプロトコルはEthereumだけでなく、複数のブロックチェーンにまたがって動作します。私たちはBancorが多く多様なブロックチェーン上のあらゆる種類の資産を結びつける機会を得たことに非常に興奮しており、この幅広い範囲が将来のBancorプロトコルの価値と可能性に大きく貢献すると考えています。私たちはこれらと他のインターチェーンソリューションとのコラボレートを目指しています。私たちが評価しなければならないものを見つけたら、是非お知らせください。

その他

- 銀行での実行がスマートトークンに起こり得る場合の問題は何ですか？これに対する保護は何かありますか？

はい、CRRが主たる保護です。価格が算定される方法は準備金が決して引き抜かれないことを保証するためです。そのようなシナリオでは価格が下がり、清算していない人には潜在的な機会が与えられます。

- より高いまたはより低いCRRを選択することの意義は何ですか？

CRRが高くなると、スマートトークンの売買に伴う価格の変動が少なくなります。これは時価総額と取引規模が与えられた場合、CRRが大きいほど購入(または清算)後の価格上昇(または下落)が小さくなることを意味します。直感的には、マーケットデプスが大きいほど、供給の変化に対して弾力性があります。

- どうしてBancorというプロジェクト名にしたのですか？

この名前は、第2次世界大戦後に国際的な通過の変換を体系化するために、Bancorと呼ばれる超国家準備通貨を導入するケインズの提案を称えるものです。この提案は、ブレトンウッズ会議で導入され、40カ国からの代表が集まり、新しい金融世界秩序を確立しました。

- BANCORトークンの時価総額はどのように測定/総額されますか？

他の通貨と同様に、時価総額は単価と供給されたトークンを掛け合わせたものです。よりスマートトークンが作成されるにつれて、BANCORを準備トークンの1つとして使用することで需要の増大はBANCOR単価の上昇圧力をかけることになります。エンドユーザーに加えて、Bancorのネットワークの成長とそれに伴う価値増大に参加したい人は、BANCORを所有する傾向になり得、したがってさらに需要が増大する可能性があります。

- 何故トークン作成者は貴重な資金を準備金に割り当てずに取引所を使うだけなのですか？

取引所に明記されるということは、取引所の所有者によって登録、検証、承認されていることです。買い手と売り手の間で取引され、その後、管轄区域やその他のビジネスモデルの考慮事項に応じて、取引所によってあらゆる種類の制限が課せられます。言うまでもなく、これらの取引所は手数料を請求することもあります。Bancorでは、スマートトークンの作成者はスマートトークンの口座にETHを入金するだけで即座に取引が可能です。加えて、利用可能な流動性も、相異なる入手可能な取引所の間に広まり、マーケットデプスをより大きく(そしてボラティリティを高く)します。Bancorでは、利用可能な全ての流動性が、スマートトークンの準備金である同じ流動性プールにそのスマートコントラクトで直接的に存在します。

用語集

Term	Definition
Bid-Askスプレッド	売り手が資産を売却しようとする最低価格と、買い手が資産を購入しようとする最高価格との差額。
カウンターパーティリスク	他の人間との取引に内在する固有のリスク: 人間/機関はその取引の一部を尊重しないこと。
CRR (Constant Reserve Ratio)	CRR(Constant Reserve Ratio: 一定準備率)は、スマートトークンの各リザーブ(準備金)ごとにスマートトークンの作成者によって設定されるパラメーターです。CRRは、準備金残高とスマートトークンの計算された時価総額との比率を決定するため、スマートトークンが非同期価格発見メカニズムとして使用する重要なパラメーターです。
欲求の二重一致	同時に、あなたが売却しなければならないことを望み、購入したい物を持っている人を見つける問題。 お金の発明は、この問題の解決策でした。Bancorの発明は、資産交換におけるこの問題に対する解決策です（言い換えると、お金の交換システム、またはお金のためのお金）。
ETF (Exchange Traded Fund)	メタファンド（ファンドのファンド）。証券取引所で取引されています。低メンテナンスでかつミューチュアルファンドより集中度が低い世界中で最も人気のある資産のクラスです。
Fractional Reserve Banking (部分準備銀行制度)	あなたがXのお金を受け取ったとき、あなたはX-Yと(XとYの比率が「準備率」)Yを貸し出し、これを無限に繰り返します。銀行によって最も一般的に使用されます。
流動性	資産を簡単に購入して売却する能力。 高い流動性 = 人気のある暗号通貨を別の人に売るようなこと。1分以内で安く行うことが可能です。 低い流動性 = 家を売るようなこと。あなたが受け入れられる価格であなたの家を望む買い手を見つけるためには多くの時間、労力、お金を費やします。
ロングテール	需要の低い大量のコンテンツ/製品を合計すると、トップパフォーマンスの組み合わせより大きなシェアを占めるような現象。
マーケットデプス	現在取引可能な資産の金額。
マーケットメイカー	特定の価格で資産を売買する注文を出すエンティティ。
価格発見	買い手と売り手が資産の価格について合意に至るプロセス。通常、これは取引所でのbidとaskの照合によって行われます。Bancorはリザーブ(準備金)に基づくアルゴリズムを使用しています。
スマートコントラクト	プログラムはブロックチェーン上で実行されます。コードを実行し、支払いを受け入れ、自分自身と他の資産を所有できるように、オブジェクトの自律性を与えることが出来ます。